

建物概要		敷地面積		評価の段階	
建物名称	ロジスクエア狭山日高	敷地面積	36,815 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	埼玉県飯能市大字芦刈場字久保12番地1他	建築面積	24,258 m ²	評価の実施日	2022年1月18日
用途地域	指定なし	延床面積	84,132 m ²	作成者	宮木 聡
建物用途	物流施設	階数	地上5F	不動産評価員番号	ふ-000804-26
竣工年月	2020年6月	構造	RC造 一部 S造	確認日	2022年1月18日
直近の大規模改修実施年月		平均居住人員	120 人	確認者	橋本 幸夫
		年間使用時間	5,634 時間/年	不動産評価員番号	ふ-000805-24

評価結果		S ランク:★★★★		78
83.3	/100	A ランク:★★★★		66
(得点 / 満点)		B+ランク:★★★		60
		B ランク:★★		50

ポイント是小数点第1位までの表示とする

1. エネルギー/温暖化ガス

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合	1.0	省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)	131 MJ/m ² ・年
1.0	1	省エネ計画書、エネルギー使用量と次年度目標、省エネルギー運営体制図	一次エネルギー(計画値)	MJ/m ² ・年
19.0	20	1.1 使用・排出原単位(計算値)	二次エネルギー(*)	kWh/m ² ・年
		省エネ計画書 BEI=0.62	CO2排出量(*)	kg-CO ₂ /m ² ・年
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	水道光熱費	450.0 円/m ² ・年
		水道光熱費		
4.0	5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	導入された対策項目数	4.0 項目
		省エネ計算対象外の倉庫エリア等		
5.0	5	1.4 自然エネルギー	利用率	60.3 %
		太陽光発電設備		
34.0	35	合計		

2. 水

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合	0	目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	26.7 L/m ² ・年
6.0	10	2.1 水使用量(計算値)	水使用量(計画値)	L/m ² ・年
		2.2 水使用量(仕様評価)		
0	0	2.3 水使用量(実績値)		
6.0	10	合計		

3. 資源利用/安全

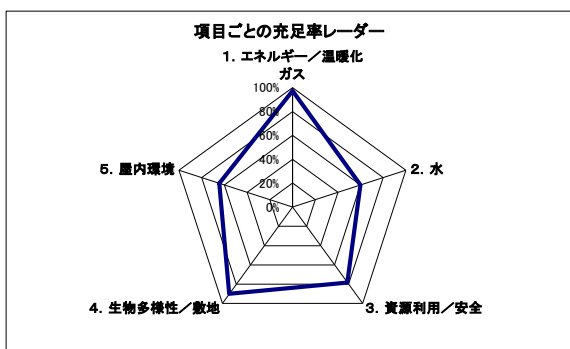
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合	5	新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし	
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価	
3.0		3.1.1 耐震性		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能		
4.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する	
3.0		① 躯体材料	該当なし	
5.0		② 非構造材料	ビニル床シート、岩綿吸音板、再生骨材等	リサイクル材品目数(非構造材) 4 品目
5.0	5	3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	評価しない	
		3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数+今後の想定耐用年	77 年
3.6	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理	1,1,3,4,2,3,4,3の平均	
4.5		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	更新年数の平均値	30 年
3.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	自給率向上の取組数	2 項目
4.0		3.4.3 維持管理	維持管理に関する取組数	10 ポイント
3.0		3.4.4 バリアフリー対策		
15.6	20	合計		

4. 生物多様性/敷地

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合	5	特定外来生物・未判別外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし	
8.0	5	4.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント	2 ポイント
4.2対象外の時は点数を倍		4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生		
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性		
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離	2 分圏内
5.0		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	取組数	3 項目
5.0	5	4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数	1 種類
		地震リスク対策あり		
18.0	20	合計		

5. 屋内環境

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合	5	建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし	
1.7	5	5.1 昼光利用	5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3	
1.0		5.1.1 自然採光	開口率	%
3.0		5.1.2 昼光利用設備	昼光利用設備	種類
3.0	5	5.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積	m ²
5.0	5	5.3 眺望・視環境	天井高さ	2.9 m以上
9.7	15	合計		



環境性能の特徴

エネルギー性能は、運用面での実績について省エネルギー性能が極めて高いことを示している。
 省エネに関係する仕様については、屋根・外壁断熱、LED照明の設置、省エネタイプの機器導入等がされている。
 内装材に、ビニル床シート、岩綿吸音板、再生骨材等の再生材を多く使用している。
 最寄のバス停徒歩2分圏内、首都圏中央連絡自動車道「狭山日高」ICより約0.7kmに位置している。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄